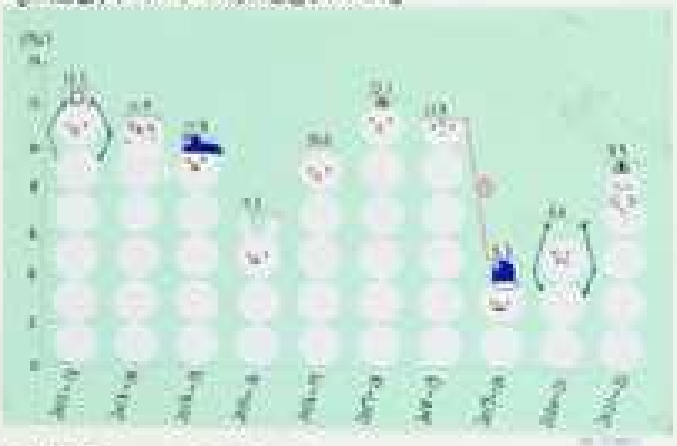
ウィンタースポーツと気候変動の関係

私は冬休みなどの連休によくスキーに行く。山梨のスキー場に行くと、富士山の美しい景観のスキー場の内が非常に多くて楽しいと思っている。しかし、年々雪量が減っていることも思った。さらに、2月初旬の方なと、雪が降りすぎてしまったためにバスが止まってしまい、帰りにくくなったりと、雪が少ないと思うようにコントロールができないなどの問題が多くなっている。スキーをより楽しく環境が、日本の気候変動にどのような影響を与えているのかを調べたいと思った。

統計の対象は長野県の

白馬岩岳スノーフィールド

白馬岩岳スノーフィールドの来場者数の変化



白馬岩岳スノーフィールド営業期間



グラフから読み取ること

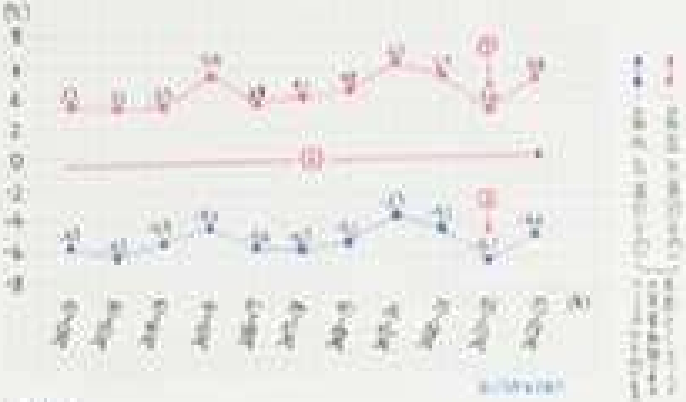
② 2018年から2020年にかけてはコロナウイルスの流行などがあり、不安定な状況を考慮する活動をしていたため、シーズンに通している岩岳スノーフィールドの来場者数は大幅に減少したのかもしれない。しかし、近年はコロナウイルスも収束の方向へ向かってきたり、スキーなどのマスクをしながら人と接触しにくい環境で楽しめるスポーツであるため、2023年では過去と同じくらいのうなぎ上がりの来場者数が記録されるのかもしれない。

③ 営業開始日は、過去のカレンダーを見ながら全て金曜日から。アルペンのように、ふだん仕事をされている方が土日の休暇に対応できるように考えられているのではないかと思う。

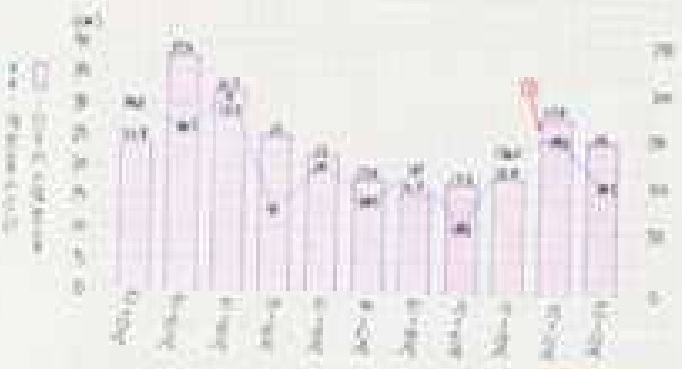
④ 気温が低くなり降雪量が増えていることがわかるこれはラニーニャ現象などによる自然現象のようなものではないかと思う。ラニーニャ現象が日本列島に直撃することによって、このような冬の寒い年が生まれるのだと思う。

⑤ このような寒くなる時期もあるが、かなり気温は安定的に上昇してることが分かる。気温が高いとスキー(雪を下に押すローラーの気温)をしたりしたい、降っている雪が湿すぎて滑にくくしまうため、気温の上昇とともに降雪量も減っているのではないかと考えた。

白馬村の気温の変化



白馬村の降雪量の変化



まとめ

ウィンタースポーツは雪が降っている「冬」という短い期間ででしか行えないものであり、体力の向上に向けてのトレーニングで行うのはもちろん、雪山の景色を見たり、地面を滑るという新感覚を楽しんだり、いろいろな利点があると思う。しかし、近年は深刻化する気候変動により前のような滑りに地を経験できなくなるかもしれない。これからの生活が厳しいものになるかに、日々「自然」というキーワードを心に残していこうと思った。

